

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鳥取県

行事名称	第 72 回文化財防火デー消防演習
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 24 日（土）午前 9 時 30 分から午前 10 時 5 分まで
実施場所	鳥飼家住宅（倉吉市関金町関金宿 1570 番地）
主催者	鳥取中部ふるさと広域連合消防局 西倉吉消防署

■実施内容

訓練の想定

鳥飼家住宅管理人が囲炉裏を使用し燻焼していたところ、火の粉が建材に着火し火災が発生。
管理人が 119 番通報、初期消火を実施。
消火のため、倉吉市消防団関金第 1 分団及び西倉吉消防署が出動し、消火活動にあたる。

訓練の内容

管理人による通報及び初期消火、消防団及び消防署による連携訓練・放水訓練の実施。

参加者及び役割分担

倉吉市消防団（本部 2 名）指揮訓練
倉吉市消防団（関金第 1 分団 10 名）放水訓練
西倉吉消防署（7 名）放水訓練
鳥取県文化財保護指導委員（2 名）現場立会い
倉吉市文化財課（4 名）119 番通報、初期消火、現場立会い、講評

特に工夫した点

積雪により訓練内容が変更されたが、消防団及び消防署の連携はスムーズであった。
訓練終了後には、消防団ポンプ車から 2 線延長した際の放水量を検証することができ、今後の消火活動に繋がる知識を得ることができた。

問題点・課題

今回の訓練は積雪が多く、消火栓が埋まっていた。厳冬期は、対象物や周辺道路などを定期的に点検・除雪し、消火活動に支障がでないよう維持する必要がある。
積雪により訓練内容を急遽変更しての訓練となったが、実火災の際にも現場の状況を見ながら柔軟に対応できるよう同会場でも想定を変更して繰り返し訓練していく必要性を感じた。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景

